

西連合町内会だより



令和6年5月9日木曜日、札幌プリンスホテル国際館パミールにて、令和6年度西連合町内会総会を開催いたしました。加藤連合町内会会長からの挨拶のあと議事に入り、昨年度の事業報告及び決算報告に続き、今年度の事業計画案、予算案が滞りなく承認されました。また、災害対応のための特別会計の規定についての会則改正案も承認されました。

本年度も連町各事業部や西地区各団体で様々な活動や催しが予定されています。

- 4月：新入学児童交通安全特別啓発
- 5月：定期総会・懇親会
- 7月：チャリティバザー、夏休み子ども体験交流会
- 8月：クリーンミーティング（出前講座）
- 9月：敬老祝賀会、啓発清掃
- 10月：お楽しみゲーム大会、赤い羽根街頭啓発
- 1月：新年交礼会、新春子どもお楽しみ大会

通年事業：

交通安全街頭啓発運動（春・夏・秋・冬）
防犯パトロール（青色・夏季及び歳末夜間等）、見守り活動、子育てサロン、健康体操、
福まち事業、各種統計調査協力ほか

協力事業も多数実施

※現時点での予定です。

※上記は活動のごくごく一部です。さっぽろ西連合町内会では、第1～第18町内会を繋ぐ7つの事業部が積極的に活動し、健全で明るいまちづくりを担っています。



懇親会 総会后、12時から国際館パミール 6階にて懇親会が開催されました。

加藤会長の主催者挨拶に続き、来賓代表の中央区中川区長からご祝辞を頂き、有塚市民部長の乾杯で祝宴が始まりました。余興の部では、まずは女性部が素晴らしいこぶし回しの民謡を披露しました。ラスト2曲は会場のみなさんと共に「花笠音頭」と「ソーラン節」を歌い、会場全体が一体となって盛り上がりしました。次に福引が行われ、最後は金澤女性部長のオカリナ伴奏のもと、西地区恒例「ふるさと」の大合唱で盛況のうちに幕を閉じ、新年度活動開始の英気を養いました。



活動報告

今年度のとりくみの一部をご報告します。



●新入学児童交通安全特別啓発

4月8日月曜日、二条小学校の入学式に合わせて西地区交通安全母の会、女性部のみなさんが交通安全特別啓発運動を行いました。交通安全祈願メッセージ入りの手作りのティッシュケースとランチマットを、先生を通じて新入学児童に配布し、交通安全を呼びかけました。



●春の交通安全

4月5日金曜日、中央区民センター付近の石山通沿いにおいて、西地区、大通地区合同で春の交通安全街頭啓発が行われました。

路肩に雪山の名残が残り、まだまだ肌寒い日ではありましたが、各町内会や交通安全指導員、交通安全母の会のみなさんをはじめ多くの方が参加し、道行くドライバーにシートベルト着用やスピードダウンなどの交通安全を呼びかけました。



●クリーンさっぽろ



5月18日、第17町内会所在の北星学園女子中学高等学校の皆さんが、札幌中央区クリーンさっぽろ街生推進協議会より表彰されました。同校では毎月、丁寧に近隣地域のごみを拾う活動を通して清潔で安全なまちづくりに参加してくれています。同町内会からは、活動時に着用するピンクのベストが記念に贈られました。



●にれの会（和老会）日帰り研修会

5月20日（月）「あったか温泉・歴史探訪の旅」を開催しました。バスを借り切って栗山町へ。北海道最古の小林酒造、きび団子の谷田製菓、栗山温泉でランチ・入浴の後「ふるさと生きものの里・オオムラサキ館」で国蝶を観賞しました。



西地区には、にれの会のような老人クラブのほかに、も様々な会や団体があり、積極的に活動しています。

「まち」をかたちづくる

町と言う漢字には田を区切る、という意味があります。人が群れて村になり、ある程度の規模になると、そこを区画整備して「町」と呼んだわけです。また、「まち」という音は一説には「間（ま）」「路（みち）」という言葉が語源になっているとも言われています。平安時代には「ものを商う店の集まり」という意味での用例もあります。道路があればそこには人がいて交易が生まれ、栄えていたのです。今でもお祭があると人が集まり、路上が賑わいます。かつてのまちの様子が蘇るかのようです。

ただ、現代では少々様相が異なります。人通りは車道によって本当に区切られてしまい、かつてのように「路」＝「自然な人の集まり」ではなくなってきました。人の集まりは巨大な駅ビルやファッションビル、ビジネス街、病院や学校と言った区画された中にかたちづけられるようになりました。

交通網の発達は一歩やモノを遠くへ運び、時間コストと利便性を飛躍的に改善しました。ただ、その発展の過程で、自由闊達な交易と他人とのかかわりの場だった「路上」は少し味気ないものになっているのかもしれない。

少々強引かもしれませんが、その「かかわり」の役割を少しでも果たしているのが祭典委員会、町内会や自治組織と言った地縁にまつわる人の集まりではないでしょうか。まちをかたちづくる要素…それは間違いなく「人」です。そんな人同士のつながりの役割をこの町内会だよりも担っています。



西地区福祉のまち推進センターより

ふれあい交流事業 津軽弁で 楽しく 笑って 若返り体操

5月30日(木)、青森県出身の古川亜優美先生をお迎えして予防医学を踏まえたストレッチ体操を実施しました。とにかく楽しいトークにのせて身体を動かすうちに、参加する皆さんの身体も気持ちもほぐれ、額に汗しながらもお喋りが弾む楽しい会となりました。皆さんの笑顔が素敵でした。



ミニサロン
今後の予定

7月 栄養出前講座

11月 音楽会

12月 フラワーアレンジメント

3月 おしゃべりサロン
(茶話会)

※福祉のまち推進センターでは、住民同士の支え合い、安心して暮らせる地域を目的に、地域の関係団体が協力し活動しています。地域にお住まいの方ならどなたでも参加できます。

能登半島地震と台湾地震に義援金寄付



1月1日に発生した能登半島地震、そして4月3日に発生した台湾地震、共にマグニチュード7を上回る大きな規模でした。被災したそれぞれの地域に対して、連日町から10万円、17の単町から各1万円(能登半島地震は女性部からも1万円)、合計55万円を赤十字を通じて寄付しています。全単町及び女性部が快く賛同してくださり、速やかな支援活動に参加出来たことをご報告いたします。

地域防災力の強化に向けて

近年、想定を上回る大規模地震が各地で発生し、今まで以上に地域の防災・助け合いの必要性が高まっています。今年三月に開かれた札幌市中央区まちづくり会議総会では、地域における防災活動について情報共有が行われました。マンションにおける防災の取り組みや、防災フェスティバルの開催など、昨年度実施された活動事例紹介をうけ、今後は若い世代に防災の担い手を増やしていく必要性などが確認されました。また、民間企業と連携した防災の取り組みに関する情報も共有されました。8月31日(土)には、札幌市立二条小学校にて中央区防災訓練の実施が予定されています。

各単町でもそれぞれ防犯、防火活動を実施しています。このうち第5・6町内会では昨年5回ほど防犯・防火パトロール活動を行い、それぞれ地域内で暮らすベトナム人の青年らが積極的に参加しました。「同じ地域に暮らす住人として、助け合い、団結して行きたい」と笑顔で語る彼らは、日本在住歴7~8年、札幌での勤務は5年以上になるメンバーです。まちの変化と多様性にも適応した連携と協力が望まれています。



ベトナムにも町内会のような地区組織があって、隣近所で協力して助け合う文化があるそうです。

西連合町内会だより 第28号(2024/7/吉日発行)

■発行/中央区西連合町内会 ■協力/大通・西まちづくりセンター ●電話/ 011-280-7033
〒060-0062 札幌市中央区南2条西15丁目291-98 ●FAX/ 011-280-7051
<https://www.city.sapporo.jp/chuo/odorinishi>
■編集/ Dala Space (www.dalaspace.org) ※中央区西連合町内会に関するお問い合わせは大通・西まちづくりセンターまで